京城新報

●新聞料　▲一部一錢一ヶ月金廿五錢▲三ヶ月金七拾錢▲六ヶ月金壹圓參拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆　三月　廿四日
發行兼編輯人　秋山忠三郎
京城西署西小門通
發行所　京城新報社　電話六二三番

韓國に働きたる人物　其十五
政務局長山座圓次郎（上）

▲山座圓次郎も赤門出身の法學士であるが少しも官學の風なく、一風變つた男である、夫れは渠が福岡の玄洋社で、豪傑頭山滿の不言沈默の薰陶を受けたからである、通常の俗吏と異て、奇骨の稜々たる處は小村壽太郎に私淑して居るからでもあらうが、全く頭山滿の御蔭である、

▲今でては渠は頭山よりも、小村を崇拜して居る、現今渠のすることは徹頭徹尾小村式である、外務省に於ける渠の勢いは大したものである、渺たる一政務局長の渠は、次官を凌ぎ、或は大臣たる林董をも凌ぐ勢である、同じ局長でも兄分である石井の如きは到底比べ者にならぬ、

▲渠が小村に知られ、渠が小村を崇拜する樣になつたのは、渠が京城領事で公使館書記官を兼務のときである、小村が公使で王妃事件の跡始末に來たとき渠も跡から領事内田定槌の替りに來たのである、

▲小村も大學出身者としては、毛色の變つた豪傑肌の男である、そこで同氣相求むるで山座の性行が痛く氣に叶つた、渠も亦た小村を良び親分と考へ、小村に對しては赤心を捧げたものだ、

▲併し渠の行動は官吏としては、粗暴過ぎると思ふことをする、渠は京城領事を隨分長く勤めた、小村去り原敬、加藤時代を經過して、林權助になつてからも暫らく京城領事兼公使館書記で居つた、

▲林權助時代に或る日本人が利權問題に公使館を訪ふた、山座も其處に居合はせた、其問題に就て例の粗暴なる口調で冷嘲した、其日本人も癪に觸はつたと見へ罵り返した其時に山座は夏のことで浴衣一枚で椅子の上「アグラ」をかいて居たが、罵られて憤然として、尻を捲くつ、傍らの椅子を以て振り上げた、一方も負けては居らず同じく椅子を振り上げた、正に格鬪に及ばんとする一刹那、林權助が割りて仲裁して、漸く靜まつたのである、

▲兎に角渠は頗る亂暴ものであるが、日本人の利權は能く保護して呉れたものです、渠も亦た在留民の味方であつた、

▲渠が硬骨漢であることとは、日韓人の爭ひには、何時も邦人の權利を充分に伸張して公使の姑息を伺ふやうなことは少しもなかつた、渠は常に帝國主義の眞意を解したるのである、亦た韓人の肩を持つて遣つて、韓人が嬉れしがらぬのみか、却て附け上り恩を仇で報ずる性質を能く心得て居つたものだ、

▲役に立たぬ、韓人嬉れしがらせをなし、夫れが爲に日本人の權利を蹂躙する樣な間拔けの遣り方はせなかつた、流石に渠は懷柔策の効なきを能く知つて自己の權力範圍の事は公使に構はず斷行したものである、

●旅順の露軍忠魂碑（日本政府の建設）

旅順に於ける露軍忠魂碑は本月二十五日を以て除幕式を行ふ由なるが其建設事情に就て聞く所に依れば最初吾が政府は關東都督府に命じ戰役當時旅順の堡壘を固守して最も勇敢なる戰死を遂げたる露國軍隊將卒の爲め工費四萬餘圓を投じ地を旅順案子山麓に相して忠魂碑を建設せしむることゝなり關東都督府は旅順要塞司令官稅所少將を其委員長に擧げ同少將監督の下に滿一ヶ年の日月を費し今回愈々落成したる次第にて紀念碑の用材は日本唯一の石材產地たる德山より送り正面碑文を刻せる花崗石も亦同樣山口縣より運ばれ建設はドリック式に則り碑の周圍は十四尺五寸にして高さは眞鍮の十字架の頂上まで四十尺あり而して碑の正面には前記花崗石を丸形にしたるものへ露國文を以て「忠勇なる旅順陣歿露國將士の英魂を祭る」と刻み向て右側面には漢文にて『日本政府建之』と記し左側面には『旅順陣歿露軍將卒之碑』と刻し扨て背面には大島大將の選に成る碑文を勒したり斯くて此巍然たる忠魂碑は長へに案子山と高を競ふるものゝ如く偉勳萬代に垂れ義烈千秋に輝くの概あり碑の周圍は長さ五十間幅二十間の煉瓦塀を繞らし南側には番號を附せられたる十二基の石造合葬碑と三十六基の鐵製單獨碑を順序よく排列しあり而して三十六基は戰死當時旅順の各所に標木を立てゝ一人毎に埋葬しありたる露國軍隊の士卒ら若干名の分にして又十二基の合葬碑は趙家屯（八百廿二人）松樹溝（千七百八十五人）毅前軍右營北方（七百四十九人）大孤山小孤山（三十七名）一七四高地南太陽溝（千四百九十八人）二〇三高地椅子山（六千五百五十人）北太陽溝（千七百九十二人）東鷄冠山北砲臺盤龍山西砲臺（三百廿二人）毅前軍左營（百三十七名）西太陽溝北方（百十七人）陸軍墓地（七百四十八名）黃金臺（九十名）等の遺骨を戰死場所により一括合葬したるものなりとぞ除幕式當日には遠く聖彼得堡より露國軍隊代表者及び遺族の參拜あるのみならず旅順大連間に在住の日露兩國官民も參列する筈なりと云ふ

●旅順近海沈沒船

旅順港口に沈沒せる閉塞船の爆破取除作業は其後大に進捗し港口は船舶の出入毫も差閊へなく日本諸船及支那ジャンクは自由に通航する迄に運びたるが尚ほ船舶下部の海底に膠着埋沒せるもの尠からず斯くては出入艦船の任所に投錨する能はざるの危險あるより之れをも除去せんとし本月一日以來内地より更に百二十名の職工を增備して怠らず作業を續行しつゝあるが其筋の計畫にては遲くも本年十月中には港口附近にある沈沒船と共に全部の工作を終了する豫定なり又旅順鎭守府沿岸海軍管區の内西は鳩灣より東は營城方面に亘る海面に沈沒せる軍艦水雷艇及び船舶等隨分尠からざる數にて既に夫々調查を終り同時に引揚費用迄も計算したる由なるが近頃漁業の開始と共に漁業者の名義にて船舶を發見せしとか水雷を拾得したりとか種々其筋へ申出づるもの多きも右の事情なる爲め鎭守府にては一切許可せざる方針なりと

◉暴徒討伐情報（軍司令部着）

△京畿南道砥平守備隊より出したる下士以下七名は四月十三日江原道洪川北方約一里に於て賊魁李乘壽の率ゆる約百名の賊と遭遇し之を擊退して其二を殪し十余名を傷く

△江原道洪川分遣隊は四月十三四兩日に亘り同地北方及東北方の地區を檢擧し賊の四名を捕縛せり

△四月十六日光州守備隊騎兵中隊より出したる上等兵以下三巡查二は同地東方谷城の南三四里にて約二十四の賊を攻擊し之を潰亂せしめ其二を殪す

△慶尚北道聞慶守備隊より出したる變裝討伐隊は四月十三日拂曉約七十の賊同地東方四里の地に宿泊しあるを偵知し之を襲ひ潰亂せしむ賊の死者十七傷者若干我に等兵一名戰死鹵獲品若干あり捕虜二あり又第二變裝隊討伐隊は四月十三日聞慶西北方水回場の西方約二里に於て夕食準備中の約五十の賊を襲ひ其八を殪す賊の負傷者若干あり

△京畿道加平守備隊長は四月十九日賊の首魁金春涤を捕縛せり

△利川守備隊長は長湖院西方十余里の村落に於て韓人金明浩なるもの暴徒を煽動し附近を襲撃せんとするの企圖あるを偵知し四月十七日之を逮捕し審問の結果其罪狀を自白し留置中逃亡を企てしを以て射殺す

△咸鏡南道高原分遣所下士以下五名は同地南方約五里に於て約百三拾の賊を夜襲し首魁六を殪し十余名を傷く

●江原道平海郡狀況

平海は日本海に面せる一小商邑にして八ヶ面に區劃し洞數八十四あり而して最近の調查に依る郡内戸數は二千二百四十一戸人口六千二百七十一人（男三千三百五十七人女二千九百十四人）と稱す郡衙は郡の中央に位す其所在地を北下里面下城底洞とす本洞は戸數約八十戸人口約三百人なりと云ふ此地には春川警察署蔚珍分署の巡查駐在所ありて巡查五名巡檢二名在勤しありと云ふ蔚珍及盈德間の兩郵便取扱所ありて郡主事兼掌して三日に一回の便あり他に本邦人の來住者なし左れど舊曆三月頃に至れば例年本邦人の出漁者沿岸附近に渡來すると云ふ而して地方民心の狀態は現時管内を横行する賊徒は他地方より漸次侵來したるものにして郡内に賊徒の侵入したる當時の模樣を聞くに昨秋舊七月九日始めて郡内に入り爾來幾十回となく往來し良民に暴行を加へ財物を掠奪したる爲め一時民心恟々不安の念を抱きありしも近來は稍々平穩の狀なるが如し然れども郡の西方英陽郡并一帶の山脈には時々賊魁申乭石の賊群が隱顯出沒するを以て該附近は尚ほ不穩なりと云ふ

◉靈巖の狀況

全羅南道靈巖在留日本人は巡查駐在所郵便取扱所財務署韓國金融組合農事經營者木浦棉花採買所出張所雜貨商等總ての人員三十二名にして昨年暴徒猖獗以來地方を横行せし事數回ありしがため人心恟々として恐懼の狀態に在りしが憲兵分遣所新設以來偉大なる安堵の念を生したるもの〻如く皆熱心に其業に從へり而して暴徒に就ては概ね被害少なく且暴徒に加擔せしもの〻到つて稀なるも羅州長興康津に通ずる道路は時々暴徒の横行繁く甚だ危險の極みなりとす四月八日元井面金山里に暴徒約三十名來襲し村公金百二十三圓を強奪せりと云ふ又金磨面には時々賊徒宿泊せる模樣なるも憲兵分遣所新設以來人民を慰撫し暴徒の侵入を防ぐの方法を講じつ〻あるも住民は憲兵の何者たるを解せず恐怖の念を抱き居るを以て分遣所長は部内各面長を招致し懇に憲兵の職責を諭し尚部守として憲兵の本務は地方の安寧幸福の增進を計り人民の財產の保護に任ずるものなれば各々危險の念を生せず安堵すべしと告示したれば漸く了解せるもの〻如しと云ふ

等閑錄
馬の骨

△韓國の生命は農業であることは言を待たずして何人も首肯することゝである、然し其生命を支配する農業は韓在來の慣習と方法とに[illegible]何時迄進步と向上[illegible]に於て進化したる日本人により初めて行はれるのである、韓國の發展には日本政府が多大の費用を投じて統監府を設置し更に韓政府は顧問を聘く、其主意は一日も早く韓國の生命をして安全ならしめたい、世界の各國と並んで行きたいと云ふ觀念に外ならんのである、吾人は云ふ韓國を支配する行政の事務百般は準備整然たり尚此の上に多くの行政官、ヘボ役人を雇い入るゝの必要なし然も上に百般の事務整いたるに係はらず下之が實行證跡の擧らざる何ぞ甚しき、然も見よ土地證明規則、國有未墾地利用法、曰く何、曰く何法規條網の如く蜘蛛の網羅の如し、然して土地證明規則の實施後は如何、理事廳に於て未だ多く出願せる邦人の査證をすらも行はざるのみならず、一般人民は折角渡韓し韓國に於て土地を購入し著實に農業を經營せんとするも手續の繁と法規のあまりにむづかしきとにあきれて、資力を他に轉せしものすら尠からず、更に聞く國有未墾地利用法は韓人を本位にすと、夫れ統監府は與に之等閑縱か呀、

△韓國民をして安全ならしむるは一國の政治よりも一國の產業發達に如くものなし、衣食住足りて禮節を知る、教育も必要ならん治亂も必要ならん、然れども彼等の低き生活狀態は果して永く續行すべきものなるや否や、貧すれば鈍する、彼等に一日も早く衣食の道を講せざるべからず、衣食を得るの手段は產業を知らしむるに如かざるなり、國貧にして不忠の徒出で國亂れて民亡ぶ、日本人が韓國にて土地を所有したからとて直ちに韓人の糊口を枯らすもの〻如く見てとるは誤謬の甚しいものである、すべからく日本人に出來得る丈產業發達の助力をなすべきは統監府の義務であるまいか

▲たとへば韓國の輸入稅目を見るに器械類（農用器械類）は從價の八分稅を課し、農具は無免稅なるにも係はらず、何何分なるかは知らねど、新羅プラオ三座に對し三圓六十錢の課稅ありし坏は事少なりと云へとも統監府が之等の方面に向て等閑視してをるのは事實であるまいか、或は其農具が外國より來たるの故を以て課しゝものなりとでも云へば吾曹改めて大に論せんとす、是等產業に要する材料は統監府が出來得る丈保護し助して一日も早く完全なる韓國の經濟狀態を保せんことを期してもらひたい、

△田舍の暴徒は如何であるか、田畑を荒すこと狐狸の如く、昨年我が社の知人が有する農場は度々暴徒に襲來され其都度野菜果實牛馬を奪取せられ其損害額約三千五六百圓に上りしとは氣の毒の至りならずや、暴徒が一所々に於て金錢物品を盗掠するところよりして考へなば彼等素より無賴の徒市井の賊なりと云へども又一面生活難より職を失ひ衣食の道なく遂に斯る群に入りて暴擧をなすものならん、國の貧は民の貧であるまいか、嗚呼國貧にして不忠の徒出で國亂れて民亡ぶ、韓の前途や如何、

小說
新不如歸（一）
篠原嶺葉著

「貴方號外が參りましてございますよ。」

と、一葉の號外を良人の前に出したは、其名を濟子といつて、二十五六の美しい婦人である。

「號外、今頃何の號外だらう。」

と云ひつゝ手に取上げたは、西脇義祐と云ふ陸軍步兵大尉である、年齡は三十一で筋骨の逞しい容貌の魁偉な、背の突兀と高い、そして鼻下に美しい髭を蓄へた一見誰が目にも軍人と想像のできる風采である。

やゝ寸間號外を睨めて居たが、やがて

「なんだ不要ない。」

と投り出した、が、しかし其聲は極めて勢ひのない聲で、大尉の平生を知るものには別人の聲かとも聞かれた。

傍に茶を入れて居た母の樣子は、

「何の號外だね、何か變つた事でもあつたのか。」

「いゝえ格別變つた事ぢやないです、此間露西亞から來た黑鳩公といふ人が、何處に行つたか行先が知れないと云ふ風評でしたが、播州の須磨の浦で釣を垂て遊んでるといふ事が分明たといふ、其號外です。」

「黑鳩公といふは、此間お前の話して下れた露西亞の陸軍大臣ぢやないかね、奈何して那樣所に行つて釣なんかしてるんだらう」

「須磨は景色が宜いのに、外國の人は暢氣ですからね、何と云ふ事なしに遊んでるのでせうよ。」

と、隣座敷で縫物を爲て居た妹の百合子は突然、

「だつて兄さん可笑ぢやありませんか、號外は何か變つた出來事のあつた時に出すもんでせう、それだのに外國人が來て釣をして遊んでる位で號外を出すのは、新聞紙も隨分ですわね。」

「お前のやうに言つて了へば然うだけれどあゝいふ有名な人になると、何處で奈何いふ事を爲てるかと、皆なが注目してるからそれで號外を出すのだよ。」

すると、此說明を聞いた母の樣子は、

「そりや然うだらうね、あゝいふ人になると遊んでるやうでも、何を爲てるか知れないからね。」

と太く感じた樣子である、百合子も得心したと見ゑて口を噤むだ。

と、義祐は何を感じたか、急に

「阿母さん、私これから四五日旅行して來ますから、不在中を宜しく願ひます。」

母は驚き顏に、

「おゝッ旅行するッて、まあ可笑い人だね突如に、何所へ往くんだね。」

「なに突如でも無いのです、疾から往つて見やうと思つて居たんですから。」

「何處へ行くのか知らんけれども軍隊の方は然ういつてあるのかね。」

「軍隊へはまだ何とも云つて無いですが、病氣とでも云つて屆けて置きます。」

「それにしてからが、もうお前彼是三時ぢやないか、明日の朝早くにしては……」

「汽車ですから、夜の方が却つて都合が可いです……濟さん衣服出して下れんか。」

「はい、何品をお召しなさいます。」

「さうね、どれにせうか……矢張絣の揃ひにしとかう。」

と、母は傍から口を添へて、

「だけれど、行先に依つて紋付でないと困る事がありますよ、矢張紋付を着て往つては奈何だね。」

「紋付の要るやうな所ぢやありませんから絣で澤山です。」

「では、あの大島の揃ひを出してお遣よ。」

「はい。」

と、やがて濟子が衣服其他の旅裝を揃へて取出すと、西脇大尉は其を身に着けて、飄然と家を出た。



●漢城便り

▲一昨夜本町座に於て開かれたる有志政談大演說會は非常の盛會を以て了り候各辯士は何れも穩健なる口調を以て統監政治の缺點を擧げ千餘の聽衆に向て常識的判斷を促し候

▲千餘の聽衆は各辯士の所論を拍手を以て迎へ候之れ取りも直さず統監政治に缺點あることに同意したる次第に御座候

▲演說終了後韓國經營に就き統監政治にのみ依賴せずとの一の決議は通過被致候此決議は多少統監の御參考と相成る事と存候居留民を蒙阿蒙と思召しての御油斷は甚だ劍呑に被存候

▲昨日發行の御用紙ソウルプレスの社說は時節柄何の爲に記載されたるものなるやを疑ひ申候若しも統監府が退韓や發行停止に關する意志を世人に知らしむるの必要あらば京城日報を通じて發表することが至當と存候

▲ソウルプレスの申條は下の如くに御座候曰く五十八銀行の信用は堅固にして無責任なる新聞の記事に因て動搖せらる可ものにあらずと雖も治安の必要上發行停止を命じたるは總ての公平なる判斷者に仍て其合法的なるを認めらるゝとの言ひ草に御座候

▲而してソールプレッスは何の必要あつてか朝鮮日日をも引合に出し申候曰く他の仁川新聞が三ヶ月前公衆を煽動して或る外國會社に亂暴をなさしめんとして發行停止を命せられたるは吾人の記臆に新たなりと其結論に監督の爲に現時官憲の手に委ねある新聞に對する專制權は未だ撤廢する時期に達せず云々と揭げられ候

▲ソウルプレッスは英文なれ共其記者は日本人に相違無之候同時に居留民の一人に相違無之候而も言論の自由を束縛する發的法律存置の必要を呼ぶに至ては近頃奇怪至極と被存候

▲荒木又右衞門傳にて承知したる泉州岸和田の城主岡部長職子東洋拓殖の總裁に擬せられ候由此人殿樣に似氣なき邪氣ある山心を有し居り候平壤に於ける羊頭狗肉的の行爲は一般の知る所に候

▲同業タイムスは解停と相成申候權現樣も少々氣味惡く感せられたる結果ならむと被存候信夫理事官の心事は一般の諒する所に御座候

▲沖田大郎氏の退韓は十日間猶豫相成りたるとの事に候此人內地に歸らば必ず屈辱に對する相當の途を講ずることならむと被存候

妄聽妄言

平凡洩

▲友來りて曰く、伊藤公は幾多の名案を齎らし來れりと聞く、未だ其一だも發展せず公果して名案ありや、と、僕曰く足下今尙公を買被れり、眞個に之を信ずるものあらばそは新田某の徒のみ、特に恩顧を受けたる公の崇拜者のみなり、

▲若し公に名案の浮ぶ時は、公が心機一轉して懷柔策の非を悟りたる時なり、帝國主義の眞意義を解したる時なり、一身兩用の使ひ分けの非を自覺したる時なり、

▲公の心機轉せず、懷柔の誤りを悟らず、韓人に對しては人道を唱へ、帝國民には威壓を加ふるが如き、輕重を顚倒せる間は、幾度東上して、滄浪閣裡に思案するも、到底名案は浮び來らず、既に根本を誤る、枝葉の榮ふる道理なければなり、

▲友曰く、然らば公の統監たる以上は、帝國民の發展は不可能と斷定すべき乎、僕曰く然り、韓國統治に於ける公が鼎の輕重は既に問はれたり、

▲公も亦既に之を自覺せり、東宮殿下に扈從して歐米に航せんとするは之れ自覺の證據なり、日本帝國公の外人物なきに非ず、然るに統監の重責を放任して萬里旅程に就く、其底意推して知るべき耳、

▲僕の豫想にして違はずんば、公の幸にして亦帝國の福なり、公も今の中ならば花を以て退任するを得、帝國の對韓策も未だ誤謬の深淵に沈まざればなり、願はくは僕をして豫言者たらしめよ、

▲友曰く、足下統監府縮少問題に就て、統監府には外務と植民の二課を置き他は悉く廢すべし、理事廳も不要なりと、果して斯く信ずる乎、僕曰く然り、日本帝國民の保護機關としては、植民課と民團役所あれば事充分に足るべし、現制度は余りに復雜也

▲一体日本の官衙は比較的復雜にして、官吏の頭數過多なり、從つて手續繁にして却て事務擧らず、殖民地の官衙は殊に簡捷を要す、俸給を上げて有爲の材を用ひ、冗員を淘汰すべし、官衙の事情に通ずるものは冗員の多きに驚く也、

東京電報

▲世界海上法規會

本年十月倫敦に於て開催さるゝ海上法規に關する會議には我國よりも參列すべし

▲松方公使罷職

公使松方正作氏は暹羅國駐劄を免せらる

▲駐韓騎兵の歸還

昨年皇太子殿下護衞として渡韓したる騎兵四個中隊は其の後暴徒鎭定に從事し居たるが今回憲兵を派遣せられたる結果五月中旬頃に歸還する事となれり

▲樺太劃境委員行賞

不日發表せらるべき樺太劃境委員の行賞は大島少將に勳三等瑞寶章及び一時金を賜ひ以下各委員は勳位一等を進められ瑞寶章及び五百圓乃至三百圓の賜金なりと

（以上二十二日發）

各地電報

▲巡査隊の獲物

當地方に行動せる第一巡査隊第一班は暴徒首魁金泰元の有力なる部下六名を生擒し貯藏中の糧食米百二十石を押收せり（二十二日光州發）

▲暴徒襲來

十九日夜暴徒橫城郡邑に襲來せしも之れを擊退せり（二十二日原州發）

●有志大會と政談大演說會

在韓二十萬の同胞が統監政治に慊たらず其の秕政を鳴らしつゝあることは本紙が夙に報道し韓國に於ける我邦字新聞はまた筆を揃へて論評しつゝあることとなるが偶々仁川のタイムス新聞が五十八銀行を攻擊するの故(か)を以て發行を停止され大邱の日日新聞社主沖田捨次郎氏が民長撰擧に關し理事官の處置を批難したるの故(か)を以て退韓を命せらるゝ等言論界の自由を拘束せらるゝの現象を呈せり是等は渺たる一些事の如きも官憲の爲すまゝに任せて惟命是從はんか在韓邦人は如何なる壓迫を享くるに至るやも測るべからず尙ほ是れが爲め邦人發展の途を阻害し又韓國經營の實を擧ぐる能はざるの不幸を見るやも知るべからざるを以て今に於て大に當局者を警醒せしむべしと一昨二十二日の夜當地本町の本町座に於て有志大會政談大演說會は開かれたり開會豫定の時刻に先つて會場は立錐の餘地なく入場を謝絕するの光景を呈し入場者は一千餘名と注せられ入場する能はずして空しく去りたる者幾人未曾有の大盛況にして人心が今の統監政治に悅服するや否やは是を以ても知るべきのみ辨士並に其の演題は左の如し

開會の辭　朝鮮タイムス社　小幡虎太郎
經驗なき統監府　朝鮮タイムス社　加瀨和二郎
志死者の亡魂　辨護士　石黑行平
同胞の立場　朝鮮タイムス社　橘香橘
居留民と新聞　朝鮮日日新聞社　今井忠雄
官憲と殖民　朝鮮タイムス社　山下南海
矛盾せる政策　大韓日報社　山道亞川
言論の自由　朝鮮新報社　木塚常三
吾人の權能　大韓日報社　戶叶薰雄
偶感　京城新報社　峰岸繁太郎
未定　辨護士　高橋章之助

右畢つて有志大會を開き小幡虎太郎氏の案文を朗讀し拍手天地を轟かすの同意を得て左の決議を爲したり

決議

吾人は韓國經營に就て統監政治にのみ依賴せず進んで言論の自由を尊重せしめ併せて吾人居留民の自治的發展を希望す

本會に對し警察署は十數人の警吏を派出し嚴重に監視を爲し辨士は何れも意氣軒昂にして其の言はんとする所を遺憾なく述べ盡くし些の混雜なく夜半十二時に至つて無事散解したり

●日本赤十字社總會

日本赤十字社第十六回總會は來六月一二日の內を以て皇后陛下の臨御を奉仰東京日比谷公園に於て擧行することゝなりたるに依り本社にては各支部より參會の職員及社員取扱方を左の通り定めたる旨通牒ありたり

一、參會すべき職員中支部長、副長、委員總長及有功章佩用者は其資格別人名を此外の職員並特別社員、正社員、贊助社員は其職別社員資格を區別したる人員を至急取纏め本社へ報告のこと

一、前項報告人員に對し入場券汽車船賃割引證を送付すべきこと

一、第一項の人名書を以て報告の分に對しては本社總務會への案內狀發送すべく案內狀は上京の支部出張員へ取束ね交付のこと

一、總會參列員に對しては前例に依り各所の拜觀又は參觀を取計ふこと

●南韓沿岸視察談（續）

△統營は鎭南部の大部落にて人口二萬を有し韓國には珍しき工業地にして盛んに笠漆器及び貝細工等を生產す古へは海軍根據地として節度使を置き元祿役の古戰場にて三方に灣を控へ四通八達の要衝にして將來有望なる地なり

統營と相對せる彌勒島は其の幅七間長二百間の小海峽を以て限られ滿潮の際は小舟の通航に差支なく上に橋を架して陸上の交通をなし居れり此の海峽は干滿共に潮流西より東に向ひ韓人は元祿の役日軍水師戰敗れて此の灣に追窮され地峽を堀り切りて遁れ去りたるなりと傳へ居れり今此の水道を開鑿して大船の通航は容易ならずとするも潮汐干滿共に漁舟の交通を得るに至らば彌勒島を迂回するを要せず此の地方發達に利する事多大なるべし

△泗川郡の三千浦には日本人百五十餘在住し此の地は晉州を距る七里にして晉州平野の產物を呑吐し海灣深くして大船の碇泊に便に、南には南海、昌善其の他の小島を控へて水產物を吸收し商業盛んなれば晉州に至る道路を改修して交通の便を圖らば將來の發達期すべきなり

△南海島は三大島の一として沿岸は漁業盛んにして陸には棉花、麻布の產出多く風光美にして人口六萬を有し面積に對し普通郡に比せば三倍の多きに居れり、此の島に隣せる昌善島韓民の漁業は非常に發達し漁具漁獲方法の如きは何れも日本式に倣ひ中には遠海漁業を試むるものあり遠きは鴨綠江地方に到る者ありと云ふ

△河東は慶尙、全羅兩道の境にして蟾津江の上流三里の地點に在り人口六千五百餘主として商人にて（全羅南道の貨物主として農產物牛皮）及び沿岸島嶼の海產物を集散し每月六回の市日の如き二日に亘り米穀の取引額一市四百石に達すと云ふ又蟾津江口は海苔の生產地にして其のとび河口二里に亘る一箇年の生產額二萬五千圓に及ぶ

△以上何れの地も產物に富み商取引盛んなるも陸上海路共に交通不便にして其の發達を阻碍する事尠からず道路の改修と共に沿岸汽船航路の開通を圖るは目下の急務なり（完）

●道路改修工事着手遲延

地方の暴徒鎭定の一策として遊民に財を授くるため韓國政府は全國各地方の七大道路改修工事を開始する事は既報の如くにして其の議の決せられてより數十日經過の今日未だ工事の着手を見ず解氷期より農繁期迄の好期節を荏苒逸しつゝある事情を聞くに內部治道課にては既に一般の調査設計を了せしも工事費の支出に關し閣議並に度支部の決議手續をなさざるため空しく好期節を逸しつゝある次第なりと云ふ

●谷山郡の戰鬪

黃海道谷山郡上岡面に暴徒出沒の報あり四月十三日同郡守備兵四名並に巡査四名は討伐のため出張し偵察の結果約五十名の一團下岡面に在りて物貨掠奪中なる事を探知し目的地に前進せしに彼等は既に南方の高地に渡り我に向つて射擊を開始せり我一行は二隊に分れ攻擊前進して高地を占領し交戰一時間にして賊は陽德郡橫川里方面に潰走せり此の戰鬪に於て賊を殪す事十名銃器其他雜品若干を鹵獲せり

●衞生工事課の移轉　元度支部水道局は官制改正の結果內部土木局に合併せられ同局の一分課衞生工事課として事務は依然舊度支部廳舍構內に於て執りつゝありしも執務上不便少からざるを以て今回內部構內なる元治道課廳舍にして現今土木局となれる事務室に修繕を加へ近々同所に移轉する筈

●漢城高等女學校　今回新設すべき漢城高等女學校は前英語學校跡に設立することゝなり赤穗千春女史女學監に任命せられ奏任官四等に叙せられたり

●統監慰勞會　三浦理事官、市原第一銀行總支配人、熊谷民長、和田民會議長、秋吉商業會議所會頭等の發起にて近日中伊藤統監の慰勞を兼ね曾禰副統監の送別會を開催する筈なり

●小田柿氏送別會　今回本店詰に轉任されたる三井物產會社京城支店長小田柿捨次郎氏は近日歸朝せらるゝを以て市原、熊谷、和田、秋吉、伊東、戶叶、峰岸諸氏の發起にて來る二十七日午後六時より花月に於て送別會を開く筈なり

●野遊會注意事項　本日午後二時より夕景迄奬忠壇東側寶六庵庭園に於て愛國婦人會員の野遊會ある筈にて本部にては幔幕テント、敷物等會場の設備中なるが參會の婦人は左記の件々に注意し一日の淸遊を試むべしと

一、服裝は成べく質素のこと
一、子供ある方は成るべく連れ來ること
一、參會者の便利の爲め會場にコーヒー壽司、センベイ、水菓子等の實費賣店を設けて求めに應ずるの設備をなしあるも各自辨當等持參隨意のこと
一、當日雨天なれば見合せのこと
一、會場には二三の遊戲物を備へること

●朝鮮タイムスの解停　過日發行停止を命せられたる朝鮮タイムスは昨日を以て解停せられたり

●沖田氏の退韓猶豫　大邱日日新聞社主幹沖田棄次郎氏に對する退韓處分期は昨今日となりしが更に十日間猶豫されたりと

●輸入陶磁器荷造に就て　年々仁川港に輸入さるゝ陶磁器は其額侮るべからざるものありて尙は斯品は將來益々需要を增加する見込なり然るに從來の輸送方法は頗る不完全にして同地に到着せる際は殆んど過半の破損を見ること尠からず爲めに斯業者の蒙むる損害莫大なるを以つて其取扱方に付き當事者に希望すべく過日斯業者の主なるもの集合して種々審議する所ありたり

●仁川商況

季節柄の事とて米豆の出廻りは相應にあれど何分阪地安を氣構ねて一向買進まず韓人側に於ても餘りの安値なる爲めにや何となく賣惜みて庫入するもの多きを以つて數日來染みたるも手合せもなく市況は比較的閑散なるが如し玄米は日々二千俵を下らざる出廻あるも輸出不引合なるを以て買腰頗る弱く爲めに殆んど其全部は庫入れの已むを得ざる有樣にてあり當口の買物は弗々あり大連行も便船每に廻送されつゝあり大豆の入津も一日約二千叺に上り安値ながら望手は相應にあり一昨日の如き新井の大手買顯はれ尙値段によりては買ひ進まん模樣も見ゑて他品の不振なるに比しては遙かに好況なり韓白米は目下の所邦人に望手なく只韓人間に賣買行はれ居れり小麥は不相變好況にて値段日々昂騰し尙ほ目先き小堅き模樣を呈せり

●中川二等軍醫正出發　第二師團軍醫部長に轉補せられたる駐韓軍衞戍病院長二等軍醫正中川十全氏は昨日午前八時三十分の列車にて出發赴任の途に就かれたり

●衞戍病院長後任　軍司令部軍醫部付たりし三等軍正小田太郎氏は今回京城衞戍病院長に就任したり

●漢城病院副院長着任

居留民團立漢城病院副院長に聘せられたる福岡醫科大學三宅博士の許に於て執刀に從事したる醫學士鶴田善重氏は昨朝着任せり尙同醫學士は本日より診察に從事し而して當分の間は內科に關する新患者の診察をも兼務する由なり

●內部警部の任免　德田繁嗣氏は內部警部に任せられ六級俸を給せられ同警部吳東燦氏は依願本官を免ぜられたり

●永登浦總代辭職勸告

永登浦總代たりし丸岡德次郎が逃亡したる爲め瓜生鐵哉を臨時總代となしたることは既報の如くなるが之れに對し同地在留民間に於ては瓜生氏が曾て總代たりし際後場の名儀にて個人の賴母子講加入及び監獄署問題にて五百圓を支出し事後承諾を要めたること學童停學事件等に關し協議會を開き瓜生氏を總代となすは永登浦の自治を危くするものなりとの理由にて長沼折平、佐藤艮藏、荒木文治、小路熊太郎、岡田瀧藏等其他の人々連署の上左の如き辭職勸告書を送れりと云ふ

辭職勸告書

瓜生鐵哉、足下は永登浦評議員兼臨時總代にして現に其職に在りと雖も曾て總代たる時の如く巧に人を操縱して更に自治の危殆に瀕せんとするを顧みず又時に居民に副はざることを敢行し其事績毫も揚らず於是不肖等は足下の無定見にして且つ無能なることを確認す永登浦の爲め將來公事に關せずして速に現職を辭せられんことを切に勸告するもの也

公人私人

△松永萬里（陸軍步兵第四十七聯隊第三大隊大尉）二十二日忠州より來り山本旅館に投宿
△石黑行平（仁川辯護士）廿二日仁川より來り同上
△莊田平五郞（三菱會社理事）廿一日釜山より來り天眞樓に投宿
△鹽田環（法學士）同上
△諏訪原成衞（善隣商業學校敎諭）二十二日肥後屋へ
△大石與（大邱財務署主事）二十二日三月旅館に投宿

●近事片々

▲官庭に楊弓場設けられてより皇帝每日出御百官之に陪し傍ら花宴開かれ甚長閑也
▲春色酣此行樂大官人等花の影に扇舞ぎての御酒宴も開かるゝと宮中は天下泰平也
▲楊弓花見の御樂み罪なき遊樂甚だ佳し之を機會に賭博を始めると困つた大官人也
▲允用丙奭の徒斯道に掛けての大强者上の爲す所下の習ふは當然也との評判嘖々也
▲宮相允用何故か辭表を呈出すると自己の信任程度を試むる爲めか睡眉的の世說也
▲首相完用の愼重なる態度と允用が斯擧と對照して考れば此間の狂言略ぼ察せらる
▲法相趙重應如何なる風の吹廻しか總理になるとの取沙汰あり南爪の當り年もある
▲現內閣組織の當時趙重應閔分秘書より大臣任命を言渡され吃驚仰天腰を拔せりと
▲運好くて觀察使位と思つた所に大臣とは全く驚たろう全体は郡守邊は相當だとよ
▲嚴貴妃皇太子の爲に烟草三輛等を大師伊藤に贈らる公も宮中にては隨分持てる也
▲拓植會社の創立は伊公の感情融和せざる間は不能と隨分激怒せられた者見へる哩
▲小供の喧嘩じやあるまいし感情で國家の仕事を處置しては困る玆が善人の證據也
▲桂候の勢力は今や公を凌駕するに至る何時迄も公の言事は聽かぬ反省の必要あり
▲惡い僻で何時迄も小僧扱にしようとする巳代治抔もそれを憤慨し公を離れたのだ
▲三年經てば三歲になる小僧だと思てる中に公よりも豪くなる自分天狗は惡癖なり
▲公の配下に居つた人間で公を德とするもの恐らく無らむ若し有れば異れる方面也
▲米國大統領の要求せる海軍擴張計畫案は手痛く修正せらると合衆國亦具眼者あり
▲米國の帝國主義は之を以て其程度推想し得らる華盛頓林肯倫の精神尙ほ存在せり
▲ル氏在職して僅に帝國主義を發達せしめたるも國是とするには更に奮勵を要す也
▲常陸山愈々候補に起て其政見や甚だ滑稽相撲道と武士道を混淆する處稚氣充分
▲候補となる常陸も國に乘り過るが之を撰擧するものも餘り不眞面目也戒飾を要す
▲兩損常陸の末路を汚し撰擧の神聖を瀆る世は不誠實冷笑の時代也雄渾至誠を起せ
▲趨勢玆に至らば浪花節の雲右衞門も代議候補に起たむ代議制度も之ではヲヂヤン

開城まで（一） 梅まど

開城は高麗朝五百年の舊都で名所舊蹟も夥しい譬へて言へば京城が東京で仁川が横濱で釜山が下ノ關で元山が新潟で開城は恰も京都に當るから韓國に來て開城を見ぬのは日本へ往つて西京を見ぬのと同じことだ是非一度は足を運んで御覽なさいと僕の韓語教師ともいふべきチョンガーが勸めに乘つて夫れでは一寸見物に往かうと日曜（四月十九日）を幸ひに出て行くことになつた南大門驛に馳せつけて時間表を見ると開城行きは

南大門發	開城着
午前七時十分發	同 九時二十三分着
同 十時五十分發	午後一時四十三分着
午後三時十分發	同 五時五十一分着
同 七時發	同 九時五十四分着

とあつて滊車賃一圓八十錢とある

時計を檢ると九時であつて七時十分の滊車には間に合う筈もなく十時五十分には二時間足らず待たねばならず滊車發着の時間表を持つて居たならこんなぶまを見るのではないと呟けば

チョンガー「時間表が有ても駄目ですよ此の内釜山へ行くつもりで八時十分の滊車に乘るべく時計を見つめて七時四十分に此の驛に來ると一足れ先へとも何とも言はず滊車はブーと屁を放つて出て往つたのですよ」

と語るそんなことが有るものかと言ふと全く事實なのですといふ夫れでは韓國時間さの間違ではなかつたかと聞くと笑ひを漏らして實は其の間違でしたといふ

今は韓國時間に一定せられたからそんな間違の生ずることもないから此の表を寫し取つて置けといふと日本では滊車案内などいふ書物が出來て居るからこんな面倒を見ることもないにと不性々々に寫し取る

彼れ是れ時間を潰しても二時間と云ば長いもので時計を見れば尚ほ一時間ばかりある

「序のことに晝飯でも喰つて往かうではないか」

といふとチョンガーは大贊成で此前の待合は親切でお給仕が別嬪で飲食費が廉價で座敷が奇麗で帳簿が鈍馬で釣錢を間違へて餘分に呉れることもあるから同じ辨當を喰ふなら此の待合に限るご勸め立てる

「釣錢を餘分に取つて喜ぶなどの朝鮮魂性が僕は大嫌ひじや日本人は茶代といふて餘分に拂つて行くことはあるが間違で餘分に呉れた金を默つて取るなどいふ不都合の者は一人もないぞ」

とたしなめるご

チョンガー「夫れでも窃盗犯にはなりはせぬでせう」

と平氣でいふ

●自腹の仕損じ 第一樓かほるの魂膽

新町第一樓支店の藝妓薰事千枝ヨネ（二十）が旭町一丁目鈴木慶太郎方に無屆け宿泊したる廉に依りて科料金一圓九十錢の處分を受けたることは昨日の本紙に記載したる如くなるが之れには種々込み入りたる事情あり單に薰が好きさんの處に忍び樂しみに行きたるのみに止まらず聞けば前記鈴木慶太郎と云ふは薰裙の好い人にも嫌いな人にもあらで實は薰裙は一昨年頃から大熱々の情夫二人までもあり其の情夫の一人なる竹さんと云へば彼の明法學士かごと知る人は先刻御承知のこざならんも知らぬ阿伽の他人は竹さんが明法學士か其盤に色男か素より知るべきにあらねど此の竹さんは本町一丁目若林麥稈會社ごやらに勉め居りたる頃より薰裙の處へサッサご通ふなら跣歩で通へごマサカ跣足でもあるまいが會社の事務も手に付かぬ迄思ひつめ逆上詰めて通ひ行き蒲團よろしい反物結構小使錢無論と云ふ迄金があつたかは知らぬが隨分苦しい若面造面をして薰姐さんに入れ上げた處から追々會社の都合も宜しからずなり其の後は同じく旭町一丁目の岡田組とやらに寄食の身分極めてみじめの朝夕もあつたが夫れでも薰姐さんのことは寢ては夢起きては現まぼろしの片時も忘るればこそ體い此の身は擔夫車夫に成り下つても薰裙の處に通はではと夫れは／＼大した御熱心は善かつたが薰裙は前にも一寸書いた通り竹さん以外に今一人これは竹さんよりも最少し否や些つとばかり可愛いのがあり此の男は髯で眼鏡で五つ紋で朝鮮通で誠にハヤ何とも樣子の好い事と云つたら折角ながら竹さんは如何あつても此の男に較べては二の町とも云ふ可きである處から隨て薰裙の待遇にも甲種乙種と何の事は無い全で自分の鑑札見た樣な段取りを拵ねありしが一方竹さんは那麼ことゝは露知らず己れの心が薰の心と一人許して居つたが本年一月頃の事とか竹さん例に依つて逢いたかつた薰さんご門口から聲を蒐けて第一樓に上つた迄は善かつたが之はしたり薰裙は風邪の氣味とかにて顏すら見せず夫れでも大事の竹さんのこと故其儘突き返すには忍びなかつたと見へて二階に竹さんを一人寢かしたが豈圖らんや何ぞ知らんや此の夜は彼の五つ紋の眼鏡先生が來る筈にてチャンと宵の程から電話があつて薰裙は餘り長くもあらぬ首筋を鶴の樣に突き出して待つて居つたさは一方二階に一人寢の竹さん無論知る筈はなかつたのだ（またある）

●韓人殺しの捕縛

去る十八日午前五時頃仁川半洞の金昌順方門口に於て鎭南浦生の韓人崔在石（二十）が目下仁川碇泊中の帆船順榮丸船主久保五郎吉の爲めに鋭利なる刄を以て腹部に腸膜に達する突傷を受けたるが久保は直ちに現場より逃亡して行衛不明なりしが仁川署に於ては同人が江景方面へ逃走せる事を探知し逮捕方を江景署に依頼し置きたり然るに久保は甘々其筋の目を晦まし得たるものと安心し江景指して落延びたる所を昨日遂に同署の爲めに逮捕せられたりと因に被害者は一昨日遂に死亡せりと

●韓賊待伏に罹る

阿濟が浦に曳く網も度重なれば露顯するとも知らぬ淺智慧の韓人泥棒は去る二十一日の夜京城旭町一丁目清水工場の木戸福太郎の仕事場に忍び入り鋸六枚を盗み去り其の味を覺ゑて翌二十二日の夜も忍び込むと福太郎も斯くもあらんと待ち伏せを爲し居りて引つ捕へたる韓人は南大門外酒商金谷淳（五十）といふ者なりしと

●仁川朝日組員の拐帶

本日左の如き投書仁川より舞ひ込みたれば記す、原文のまゝ

仁川朝日組は仁川にても尤も古き人夫受負業をなし居るが爲め實業家間の信用も厚く組合の基礎も他の組に比し比較的堅固なるが如何なる行違ひにや過日組員の某は荷主より通關手續を依頼され其税金として三千餘圓を預けられしを其儘着服し國元に逃亡したりさはサテも信用あると思ひし朝日組もこういふ横着者を出す樣では行末が案じられる

●ヨボの双傷騒ぎ

西署阿峴管内康踏河なるものは豫て同管内李順九より朝鮮カルボを金九十圓にて周旋方を依頼され居りしより二三日前相當の女を世話せしが右の女は中署管内居某の雇人にて雇主は何時の間にやら女の姿を隱したりしかば大に驚き血眼になりて所々方々を尋ね廻りし處前記の李方に奉公し居るを發見せしかば直らに女を連れ歸りたるが連れ歸られたる李は默つて居らず其の趣を周旋人たる康に談判せんとし一昨夜康の宅に至り將に戸を開けんとせる際何者か知らず暗中より踊り出で突然ナイフを以て李に切つて掛り數ケ所に負傷せしめしかば早速巡査出張加害者を本署に引致したり

●酔ふては他愛なし

花時は何も韓國のみには限るまじけれど泡がは鷄の都の此處漢京は穴から夜の明けたよりも未だ御世太平にて誠に結構と謳ひ離すぞ芽出度き事なるが彼の何時ぞやのこと爰に記すは些と畏れ多いが宮中射的場にて當り矢の御祝ひありたる後にて宮内官の甲乙寄り集かりての酪事これは畏れ多くも陛下の當り矢よりも最少し賑ふた程の芽出度さとやら地方には暴徒／＼と騒ぎて日本人が一人二人殺され良民が塗炭に苦しんだ處で夫れ等は統監任せのこれも至つて竹の折れぬ仕事イヤハヤ何とも難有い世の中ではあるが之れは一昨日のこと都大路は鐘路の邃い手前の橋の上にて一人のヨボ先生何處で食し召した濁酒に酔ふたか但しは太平の御世に酔ふたかヨイヨイのヨイトヤ陳粉漢のれた芽出度い文句を歌ひ作ら御苦勞にも橋の上に立番の查公の手前も憚らばこそ手振り足振り腰振りにて調子揃ふた見事な踊り迚も巴里あたりのダンスには這麼奇拔なのは見られまじくこれや韓の都踊とも稱ふる者なるべく途行く人電車の人何れ同じ毛色のヨボ連中結構な事に腹を抱ゐ眺め入り立番の查公迄が面白たかしく調子を合せて此の處鐘路の眞中にて約 時間餘りの御遊興は道が／＼さ何處迄も太平の事かと羨に稱ゆるになん

●韓國寫眞會

在京の寫眞術嗜好家は寫眞術研究の爲め今回相謀りて韓國寫眞會なるものを組織し來る五月三日南山に於て創立會を催し印畫品評會を開くと云ふ尚ほ本町四丁目金光堂に事務所を設くる事とせり

●鹿兒島縣人會

鹿兒島縣出身の在韓者は明廿五日土曜日午後六時より京城大和町三丁目梅の家に縣人會を開催す

●五雲會番組

當地諸曲家の組織に成る五雲會にては來る五月三日午後一時本願寺別院に於て開會すると云ふ番組は左の如し

加茂 田中玄氏、ツレ本田氏、中村三氏

巴 兒島氏、野田氏

熊野 寺尾氏、ツレ竹田氏、岩崎氏

卒塔婆小町 西尾氏、鍋島氏、ツレ松寺氏

小袖曾我 小谷氏、ツレ熊谷氏、伊藤氏、トモ鮎貝氏

●本願寺供養法會

昨日龍山より運搬したる梵鐘無事同寺へ到着し今廿四日午後二時撞初式を行ひ引續き供養法會說教及餘興等ある由

●大聖教會の景況

本派本願寺の韓國開教師嚴當圓氏が韓國布教の爲め大聖教會を起し佛教信者の朴永默氏と專ら教會の擴張に從事しつゝありしが近頃に至り信徒男女千數名に及び尚ほ益々増加するの狀況にて此程西大門外盤松坊にて布教したる際の如きは男女信者八九十名に達したりと

●安徽彩票當籤番號

本月（陰三月）執行したる清國安徽省の彩票當籤番號は左の如し（二十一日發電）

一等 四五、七四〇 八、〇六八

二等 三四〇 [illegible]

三等 八、四一七 八、[illegible]

●待合所の休憩

去る二十日午前八時頃南大門停車場待合所の[illegible]休憩し居りたる韓婦人の容姿が如何にも怪しき廉あるに依り詰合の中谷巡査が取り調べたるに婦人と思ひしは誤りにて其の實男子なりしかば何故に斯く女裝をなせしやと質したるに實は自分は過日天然痘に罹りしが昨今は漸や快方に赴きたるより今より仁川に下らんとするに就けても御覽の通り滿面の痘痕の如何にも見苦しければ之を隱さんが爲めに女裝を爲し被衣を被りたる次第なりと申立てしが查公は然らば住所は何處かと尋ねたれば布德門明禮宮留守番長端方同居柳在錫（四十）なりとのことに早速同人を引き立て山本囑托醫を伴ひ同所に至りたるに他に又柳在錫（三十）金昌東（三十）の兩名の患者あるを發見せしかば同醫師は直ちに相當の手當を加へ消毒を施したりと

●荷物にはぐれる

福岡縣の者にて安東病院に車夫たりし田中觀次郎が脚氣病に罹り西湖の白竹總太郎方へ轉地療養に行かんとして去る二十二日衣類敷點を石油箱に入れ外に砂糖五斤と外套とを擔軍に擔はせ旭町一丁目より西小門へ行く途中双方見失ひて觀次郎が其旨南部警察署へ屆け出るご間もなくして南大門外靑坡の擔軍朴永喜が此の荷物の主が途中で紛失したと屆出で荷物は無事に荷主に戻りたりとは目出度し

●衣襲の金が紛失

若草町一丁目の左官職姫野濟太郎が去る二十二日韓人柳成晋、魯春成、崔輕河の三名を連れて龍山元町四丁目の津田國次郎の二作場に至り此の三人を待たせ置き腹掛を座敷に脱ぎ捨て一寸二階に上りたる間に腹掛の衣襲に入れ置きたる金十三圓紛失したりと

●靴泥棒

中署承洞首萬植方彭漢英（二十）は元來靴泥棒を本職とし現に昨冬より本春に掛けて窃みし數にても四十餘足の多きに達したるが一昨日警察署にて探知し本署に引致したり

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通(電話四二〇)
株式會社 十八銀行 京城支店
本店 長崎市築町
支店出張所 韓國 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山
日本 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣
株式會社 第五十八銀行京城支店 (電話五八番)
爲替取組先
畿內 二十七ケ所
東山道 十三ケ所
山陽道 七十五ケ所
南海道 二十三ケ所
北海道 五ケ所
臺灣 二ケ所
東海道 二十八ケ所
北陸道 十ケ所
山陰道 十三ケ所
西海道 三十ケ所
韓國 九ケ所
清國 一ケ所

大景品付大賣出し

弊店儀今回トルコ貰商會と代理店の契約仕候に依り其紀念として左記破格の直段にて來る十五日より大景品付大賣出擧行仕候間續々御用命御引立願上候

一 Dインペリアル 百本ニ付九拾錢
一 G茶褐色スポート 百本ニ付九拾五錢
右百本入一箱毎ニ景品券壹葉トス

景品目錄
一 壹等 商品券 百圓
一 貳等 同 參拾圓
一 參等 同 貳拾圓
一 四等 同 拾圓
一 自五等至七等 同 五圓
一 自八等至拾等 商品券 參圓
一 自拾壹等至參拾等 同 貳圓
一 自參拾壹等至八拾等 同 壹圓
一 自八拾壹等至百等 同 五拾錢
一 其他空籤ナシ

右は公平なる抽籤法を以て即時相渡可申上候也
當店の特色 景品は物品にあらず商品券に付何時にても隨意に御好の品にて差上可申候

代理店 岡野商店
京城本町六丁目

●社員募集
一 社員(商業ニ經驗アル者) 若干名
一 女子事務員(二十歲未滿ノ者) 二名
一 給仕(十四五歲ノ者) 二名
但シ確實ナル保證人ヲ要ス
右至急入用に付應募者は午前中に本人來社ありたし
京城南山町三丁目
東洋貿易株式會社京城支店

夏物新着荷大賣出し

空氣呼鈴並に室內電話

斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具

韓國京城本町六丁目
歐米雜貨商 中塚支店

嶄新建築材料品種々

ラパイド
金屬打出 モナーク瓦
アスハルト並に工事
リサイト
一名防火ペンキ
アスファルト
フエルト
穴原不材防腐劑
米國製壁紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區五郎兵衛町(特電本局九四三)
支店 大阪西區靭中通一丁目(特電西八九四)
同 橫須賀市太瀧町(電話一一一)
同 大連市伊勢町十一號地
同 韓國京城大和町一丁目
出張所 米國紐育フロントン街九六

合資會社 允原商會

諸衙官用御品調達

營業科目
紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料
各學校用品調達

并に委托販賣

東京合資會社 アライアンス商會代理店
橫濱百七十六番 ビユームエンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目 電話一三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町二丁目 電話新橋三九六二

藤田合名會社

謹告
エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
謹告 在韓清國人

大連 安徽 頭彩 金壹萬圓 第三十一次(陰曆四月十日 清五月十日)
湖北 江南 頭彩 金五萬圓 第七十六次(陰曆三月廿七日 清四月廿七日)
南 頭彩 金壹萬圓 第十七次(陰曆三月十五日 清四月十五日)開彩

定價
湖北彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
江南彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
大連彩票全紙金壹圓參拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢

西洋雜貨 商源源號
京城水標橋二宮街

移轉廣告
生儀是迄永樂町一丁目に罷在候處今般都合に依り京城旭町三丁目(元新聞社跡)に轉居仕候間此段廣告候也
四月十八日
辯護士 永井道忠

西洋御料理宴會
日本人倶樂部
京城南山町三丁目電話(一二三番)

確 實

學校用品 ……

商品一切各製造元ト特約致居候
價格ハ一層廉價ヲ以テ販賣仕候

池田長兵衛本店(京城本町三)
池田用達部支店(京城瑠璃町)
電話 ……〇六番

開業廣告
◯內科 ◯婦人科
◯外科 ◯小兒科
◯眼科 ◯花柳病科
今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應す
京城南大門外御成町
院主 吉田三省
吉田病院

席貸 待合 花月
本町一丁目
電話一四七番

韓國京城
株式會社 第一銀行
電話番號 營業用 一一番 國庫用 六二番
當座用 二番 生度用 一二番
營業用三三番 分析所用 六二番
本店 東京市日本橋區兜町
內地支店、出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城
淸國安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

乘馬 カケ 一頭
陸中產(背丈四尺八寸五分)
右賣却す御望の方は御來談あれ
京城鍾路通一丁目
精成組
電話(九六二)

經濟の親玉

◉夏帽子洗濯
如何程古びたる帽子にても新物同樣になります
洗濯料目
パナマ摸造金九十五錢
パナマ一個ニ付金一圓六十錢
ダスカン一個ニ付金一本
五錢
八十錢 麥稈一個ニ付三十
五錢より四十五錢まで
白羅紗製一個金九十五錢
臺灣帽金三十五錢但し現品御持參の御方樣には定價の三割引
右は御一報次第直樣店員差向け御用命に可應候
京城新町三丁目
小間物商 遠山商店
工師 遠山與五郎
出張員 菅谷武之助

石材販賣廣告
一 橋梁
一 土工
一 建築
一切之石材
右特別廉價を以て販賣致候に付多少を問はず御注文被下度奉希上候
京城永樂町三丁目廿一番戶
白井石材販賣所

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店
(電話二五一番)

●大阪豆腐●
大阪滋養豆(大王)ソップ
右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候
豆腐木のめでんがく
右は一人前十三錢にて仕出し可仕候
京城旭町壹丁目
●木のめ田樂●
中瀨商店

拾有八年の實驗
最新學術の應用
京城南山町三丁目
齒科醫 檜崎東陽
勳六等
(日本人倶樂部向)

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋
京城本町一丁目警察署前
明法學士 小川勝平事務所
電話四十一番

日本郵船株式會社 電話十番
仁川 瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月十日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 五月一日 後三時出
釧路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月十四日 後一時出
山東丸 四月廿八日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月廿五日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 四月廿八日 後三時出
●釜山出帆、元山城津、浦鹽行 弘前丸 四月廿二日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ